

渡辺 浩 (WATANABE Hiroshi)

東京大学名誉教授

東京大学法学部卒業。

東京大学助手 (法学部)、同助教授 (法学部)、同教授 (法学部・大学院法学政治学研究科) を経て、法政大学法学部教授 (2010～2017 年)。

この間、ハーヴァード大学客員研究員 (1980～1982 年)、北京日本学研究中心客員教授 (1996～1997 年)、東京大学法学部長 (2000～2002 年)、東京大学副学長 (2003～2005 年) など。

専門は、日本政治思想史。特に 17～19 世紀について、中国及び欧州との比較を意識しつつ研究している。

主な著書は、『近世日本社会と宋学』(東京大学出版会、1985 年。新装増補版 2010 年)、『東アジアの王権と思想』(東京大学出版会、1997 年。増補新装版 2016 年)、『日本政治思想史 17-19 世紀』(東京大学出版会、2010 年) (英訳、A History of Japanese Political Thought, 1600-1901, I-House Press, 2012) など。

日本政治学会理事長 (2004～2006 年)、東京大学出版会理事長 (2011～2014 年)、日本学士院会員 (2017 年～)。